

令和7年度

シラバス

普通科（G）

3年1組

福島県立小名浜海星高等学校

< 観点別評価・評定の算出方法 >

- (1) ①～③の観点別評価は、それぞれを100点満点とし、以下の到達度に応じて観点別評価をします。

観点別の点数	評価
72.6 ～ 100	A
37.6 ～ 72.5	B
0 ～ 37.5	C

- (2) ①～③の観点別の点数を合計(300点満点)し、3で割った点数が評点となり、5段階評価に使用されます(小数点以下四捨五入)。

- (3) 以下の表に基づいて評点から評定を算出します。評定「1」は欠点となり、単位不認定となります。

評点	評定
80 ～ 100	5
65 ～ 79	4
45 ～ 64	3
30 ～ 44	2
0 ～ 29	1

教科	国語	科目	国語表現	単位数	4
対象クラス		G3年1組	授業担当者	永瀬雄次・浅川康夫	

1 授業の内容と目標

- (1) わかりやすく読みやすい、整った文章を書く力を身につけます。
- (2) 自分の長を他者に的確に伝える力を身につけます。
- (3) メディアによる特性・特徴の違いについて理解します。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	60%	40%	定期考査、小テスト、授業態度
②	思考・判断・表現	60%	40%	定期考査、小テスト、授業態度、提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	小テスト、授業態度、提出物

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	4
対象クラス		G3年1組	授業担当者	深谷恵子	

1 授業の内容と目標

- (1) 近現代の歴史の展開を日本と様々な地域の関連性や地理的条件と関連付けて考察する。
- (2) 国家間の対立がおこる過程と経過を多面的・多角的に考察し、国際関係の変化を理解する。
- (3) 戦後の復興の過程と現代の国際社会の諸課題について学び、課題解決に向けて自ら探究する。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	70%	30%	定期考査・単元テスト・授業態度
②	思考・判断・表現	70%	30%	定期考査・単元テスト・授業態度・提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	授業態度・提出物

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2
対象クラス	G 3年1組		授業担当者	渡部文恵	

1 授業の内容と目標

- (1) 広い視野に立ち、現代の社会・政治・経済・国際関係などの諸課題を追究する活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 評価の観点

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考査	平常点	
①	知識・技能	50%	50%	定期考査・単元テスト
②	思考・判断・表現	50%	50%	定期考査・提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	授業態度・提出物

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	3
対象クラス	G 3年1組		授業担当者	佐藤葵	

1 授業の内容と目標

- (1) 指数関数と対数関数：指数を整数へ広げた指数法則を理解し、桁数に関する対数について学びます。計算ができ、グラフがかけ、方程式・不等式が解けることが目標です。
- (2) 微分：微分係数や導関数の意味について理解し、関数の増減、極大・極小を調べたり、グラフをかいたりできるようにします。
- (3) 積分：積分について学び、直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積の求め方について学びます。面積の計算ができるようになることが目標です。

2 評価の観点

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考査	平常点	
①	知識・技能	80%	20%	定期考査、小テスト、ワークシート
②	思考・判断・表現	70%	30%	定期考査、小テスト、ワークシート
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	ノート、行動観察、発表、自己評価

教科	数学	科目	数学B	単位数	2
対象クラス	G3年1組（進学コース）		授業担当者	角田春太	

1 授業の内容と目標

- (1) 数列：数列について、数の並び方の規則性に着目して、一般項を n で表したり、和を求めたりします。
- (2) 統計的な推測：集団の一部のデータを集めて、集団全体の特徴を推測することについて学びます。
- (3) 数学と社会生活：実際に調査することが難しい数量を、いくつかの手がかりと仮定をもとに推論し、短時間で概算する方法について学びます。

2 評価の観点

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	80%	20%	定期考査、小テスト、ワークシート
②	思考・判断・表現	70%	30%	定期考査、小テスト、ワークシート
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	ノート、行動観察、発表、自己評価

教科	数学	科目	数学C	単位数	2
対象クラス	G3年1組（選択）		授業担当者	佐藤葵	

1 授業の内容と目標

- (1) ベクトル：大きさや向きをもった量としてのベクトルの意味を理解し、成分表示も含めた演算について学びます。また、平面上のベクトルの拡張として空間ベクトルについても学びます。
- (2) 平面上の曲線：放物線、楕円、双曲線について、定義や性質を理解したり、図示したりします。
- (3) 複素数平面：点を複素数平面上で表したり、複素数の極形式を理解したりします。

2 評価の観点

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	80%	20%	定期考査、小テスト、ワークシート
②	思考・判断・表現	70%	30%	定期考査、小テスト、ワークシート
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	ノート、行動観察、発表、自己評価

教科	数学	科目	数学基礎	単位数	2
対象クラス	G3年1組(選択)		授業担当者	安島久美子	

1 授業の内容と目標

- (1) 数と式：式の展開・因数分解、平方根、不等式など、数や式を目的に応じて適切に変形する力を養い、計算力をアップさせます。
- (2) 2次関数：2次関数の様々な式を取り扱います。グラフがかけるようになること、関数を用いた問題解決が目標です。
- (3) 図形と計量：サイン、コサイン、タンジェントの性質や求め方について学び、測量の考え方に繋がります。角の大きさや辺の長さを求められることが目標です。
- (4) データの分析：多数のデータの特徴を適切に捉える方法を学習します。様々な情報が溢れる現代社会で、データを「読み解く力」を養います。
- (5) 場合の数と確率：ある事柄について、起こりうるすべての場合、1列に並べるときの並べ方、組合せの総数を求める方法を学び、様々な事柄が起こるときの確率を求められるようになることで、事象の起こりやすさを判断する力を養います。
- (6) 図形の性質：三角形や円の性質を学ぶことで、図形の性質を見出し、論理的に考察する力を養います。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における評価配分		評価項目
		考查	平常点	
①	知識・技能	80%	20%	定期考查、小テスト、ワークシート
②	思考・判断・表現	70%	30%	定期考查、小テスト、ワークシート
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	ノート、行動観察、発表、自己評価

教 科	理 科	科 目	化学基礎	単位数	3
対象クラス		G 3年1組		授業担当者	清野信人

1 授業の内容と目標

- (1) 化学が物質を対象とする科学であることや、化学が人間生活に果たしている役割を理解する。
- (2) 原子の構造、電子配置と周期律の関係および化学結合のしくみについて理解する。
- (3) 化学反応の量的関係、酸と塩基の反応および酸化還元反応の基本的な概念や法則を理解するとともに、日常生活や社会と関連付けて考察できる。

2 評価の観点

- ① 知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点	各観点における評価配分		評 価 項 目
	考 査	平常点	
① 知識・技能	60%	40%	定期考査・小テスト
② 思考・判断・表現	60%	40%	定期考査・小テスト
③ 主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	授業態度・実験態度・提出物

教 科	理科	科 目	理科演習	単位数	2
対象クラス		G 3年1組 (選択)		授業担当者	清野信人

1 授業の内容と目標

- (1) 日常生活や社会との関連を図りながら科学的な現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付ける。
- (2) 生命現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。
- (3) 観察・実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付ける。

2 評価の観点

- ① 知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点	各観点における評価配分		評 価 項 目
	考 査	平常点	
① 知識・技能	60%	40%	定期考査・小テスト
② 思考・判断・表現	60%	40%	定期考査・小テスト
③ 主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	授業態度・実験態度・提出物

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2
対象クラス		G 3 年 1 組	授業担当者	清水裕之・高橋香	

1 授業の内容と目標

陸上競技、体づくり運動、球技、水泳、ダンスなど様々な運動を通して楽しさや喜びを味わう授業です。次のことを目標とします。

- (1) 約束事やルールを守る態度の確立
- (2) 健康・安全に気をつけて、仲間と協力して、自己の役割を果たす態度を育てる
- (3) 体の調子を整え、体力の向上を図る
- (4) 生涯を通して継続的に運動ができる資質を養う

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	0%	100%	学習カード、スキルテスト、授業態度
②	思考・判断・表現	0%	100%	学習カード、授業態度
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	学習カード、授業態度

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション II	単位数	3
対象クラス		G 3 年 1 組	授業担当者	小松睦	

1 授業の内容と目標

- (1) 新しい表現を学び、まとまった長さの英文を読んで（聞いて）内容を理解し、英語で自分の考えや気持ちを英語で話したり書いたりすることができる。
- (2) 新たに学んだ表現を用い、英語で自分の考えや気持ちを相手に伝えるとともに、相手の考えや気持ちを理解した上でやりとりができる。
- (3) 世界中の様々な事象や人物に関する英文に触れた上で、自分自身の考えや住んでいる地域の特性と関連付け、学んだ表現を用いて自分自身や自分の住んでいる地域について英語で発信できる。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	70%	30%	定期考査・小テスト・授業態度
②	思考・判断・表現	70%	30%	定期考査・小テスト・授業態度・提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	20%	80%	定期考査・小テスト・授業態度・提出物

教科	外国語	科目	論理と表現	単位数	2
対象クラス		G 3 年 1 組	授業担当者	小松睦	

1 授業の内容と目標

- (1) 英語で自分の考えや調べたことを伝えたり、発表するための表現について理解し、話したり書いたりすることができる。
- (2) 英語でお互いの考えや発表についてやりとりする中で、相手の考えを理解し、適切な表現を用いて応答することができる。
- (3) 授業で学んだことを生かして、自分の考えや調べたことを、筋道を立てて英語で話したりして伝えることができる。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	70%	30%	定期考査・小テスト・授業態度
②	思考・判断・表現	70%	30%	定期考査・小テスト・授業態度・提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	20%	80%	定期考査・小テスト・授業態度・提出物

教科	外国語	科目	英語演習（学校設定科目）	単位数	2
対象クラス		G 3 年 1 組	授業担当者	山内洋平	

1 授業の内容と目標

- (1) 英語の基本的な文法事項や会話表現を理解し、簡単な英語で自分の考えや気持ちを表すことができる。
- (2) 海外からの観光客や日本で働く外国人材とのコミュニケーションを想定した上で、自分の考えや気持ちを相手に伝えるとともに、相手の考えや気持ちを理解することができる。
- (3) 外国人材との交流において重要な役割を担う英語の学習を通じ、積極的に他者とコミュニケーションをとることができる。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	70%	30%	定期考査・小テスト・授業態度
②	思考・判断・表現	70%	30%	定期考査・小テスト・授業態度・提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	20%	80%	定期考査・小テスト・授業態度・提出物

科	商業	科目	ビジネス・コミュニケーション	単位数	3
対象クラス		G3年1組		授業担当者	高野賢司

1 授業の内容と目標

- (1) ビジネスにおけるコミュニケーションについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおいてコミュニケーションを図ることに主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養う。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	80%	20%	定期考査（問題集より） 単元テスト
②	思考・判断・表現	20%	80%	授業時作成資料 コンテスト応募資料
③	主体的に学習に 取り組む態度	0%	100%	地域連携の取り組み、外部講師事業、 提出物、授業態度

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	2
対象クラス		G3年1組（選択）		授業担当者	遠藤香

1 授業の内容と目標

- (1) 子どもの発達の特徴や発達過程、保育などに関する知識と技術を身につける。
- (2) 子どもとの健やかな発達における遊びの重要性や意義を、おもちゃづくりなどの活動を通じて理解する。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	0%	100%	小テスト・作品・授業態度・提出物
②	思考・判断・表現	0%	100%	小テスト・作品・授業態度・提出物
③	主体的に学習に 取り組む態度	0%	100%	小テスト・作品・授業態度・提出物

教科	芸術	科目	器楽	単位数	2
対象クラス	G 3 年 1 組 (選択)		授業担当者	郡司里美	

1 授業の内容と目標

- (1) 演奏の授業では、ピアノを中心とした様々な楽器を演奏する技能の習得を目指します。個々のレベルや興味に応じた楽曲に取り組むため、楽しく楽器の演奏技能を身に付けることができます。また、ペアや全体でのアンサンブルの機会を多く取り入れるので、他者との調和を意識して演奏する技能も身に付けましょう。
- (2) 演奏技能の習得と並行して、旋律や和声を中心とした楽典の学習にも力を入れます。メロディーやハーモニーの仕組みを理解することで、より豊かな音楽表現を目指しましょう。
- (3) 授業内で、定期的な発表会の機会を設けます。自分の演奏を発表したり、演奏について互いに意見を交換したりする活動をとおして、プレゼンテーションの力も身に付けましょう。

2 評価の観点

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	0%	100%	学習プリント・観察・聴取・小テスト 創作作品・実技試験
②	思考・判断・表現	0%	100%	学習プリント・観察・聴取・小テスト 創作作品・実技試験
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	学習プリント・観察・聴取・小テスト 創作作品・実技試験・授業態度・自己評価

教科	芸術	科目	構成	単位数	2
対象クラス	G 3 年 1 組		授業担当者	川澄直子	

1 授業の内容と目標

- (1) 目標：造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに、基礎となり技能を身に付けるようにする。造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力、判断力、表現力等を育成する。造形感覚を高めようとする態度を養う。
- (2) 学習内容：形体・色彩（油絵、木工芸）、平面構成・立体構成（レザークラフト、木工芸、カービング）、鑑賞など。

2 評価の観点

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	0%	100%	小テスト・提出作品・授業態度
②	思考・判断・表現	0%	100%	小テスト・提出作品・授業態度
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	小テスト・提出作品・授業態度